

【抜粋】30年産以降の「米政策の見直し」に向けた意識調査

《調査期間》平成28年5月～6月 《調査手法》市町村職員、府職員による聞き取り

1 調査対象者について

154経営体（府内全域から、水稲作付規模に応じ市町村ごとに調査件数を割当て）
 （内訳）・・・ 担い手 109件（71%）、非担い手 45件（29%）

	【担い手】【非担い手】			【担い手】【非担い手】			
* 営農形態	家族経営	37%	100%	* 年齢	40代以下	23%	11%
	集落営農	7%	0%		50～60代	47%	51%
	法人	56%	0%		70代以上	27%	38%
* 水田経営面積	0.3ha以下	1%	4%	* 作業受託	あり	64%	18%
	0.3～2ha	6%	93%		無し	36%	82%
	2～10ha	47%	2%				
	10ha以上	44%	0%				

2 調査の結果の概要

■米の直接支払交付金（7,500円/10a）が廃止されると、経営にどんな影響がありますか。

資金繰りや借入金の返済に困難が生じる

担い手 66%、非担い手 27%

影響は無い

担い手 20%、非担い手 44%

その他

担い手 14%、非担い手 27%

（具体的に：無くなる前提で考える必要がある、収入が減る、機械の更新費や人件費等を抑える必要、他の収益品目の作付を増やす必要がある 等）

▶ “担い手”の2/3が「資金繰りや借入金の返済に困難が生じる」と回答しているが、交付金の廃止に伴って、経営の見直し（コストダウン、売上アップ）を考えている者もいる

■平成30年産以降、主食用米の作付はどうされますか。

増やす/増える

担い手 29%、非担い手 7%

減らす/やめる

担い手 13%、非担い手 9%

今までどおり

担い手 55%、非担い手 84%

▶ 「今までどおり」との回答が大半であるが、“担い手”の3割が「増やす/増える」と回答。農地集積を想定して「増える」と回答した者のほか、取引先からコメの出荷増を求められている等により「増やす」と回答した者もある。

■平成 30 年産以降、主食用米以外で作付を増やしたい品目がありますか。

ある **担い手 45%、非担い手 20%**

(具体的に：加工用米 13、酒米 11、飼料用米・WCS 9、モチ米 3、小豆 7、大豆 3、黒大豆 3、野菜 17、ネギ 4、枝豆 4、その他 9)

ない **担い手 51%、非担い手 80%**

▶ “担い手” の 1 / 2 程度が、「主食用米以外で作付を増やしたい作物がある」と回答。うち 7 割が非主食用の水稲や小豆・大豆等の土地利用型作物を挙げている。

■水田作物の作付を維持・拡大するため、課題となっていることは何ですか。

売り先が拡大しない **担い手 19%、非担い手 9%**

調製・集荷の施設が不足 **担い手 18%、非担い手 0%**

労働力が不足 **担い手 26%、非担い手 38%**

価格が生産コストに見合わない (特に負担と感じているコストは)

資材費 **担い手 54%、非担い手 49%**

労賃 **担い手 28%、非担い手 9%**

償却費 **担い手 33%、非担い手 33%**

委託費・利用料 **担い手 13%、非担い手 11%**

その他 **担い手 6%、非担い手 11%**

(具体的に：草刈り、農道水路の整備、獣害対策、有望品目の選定)

▶ 資材費や償却費の負担が顕著。また、労賃負担や労力不足を挙げる者も目立つ。“担い手” では、「売り先の拡大」や「調製・集荷施設の不足」が特徴的となっている。

■その他、米政策の見直しに関連して不安や疑問があればお教えてください。(抜粋)

【担い手】

- * 集落営農法人の経営がやっていけなくなるのでは
- * 米価が今まで以上に下がること
- * 自分だけ需要に応じた生産をしても、他の生産者が取り組まなければ意味が無いのでは
- * 政策が 3 年くらいたつと変わる事
- * 米以外の作物に対する交付金がどうなるのか
- * お客様のニーズがどう変化するか (価格・食味)
- * コメの消費量が一層減少すること、
- * 酒米の需要が拡大しないこと
- * (個人担い手の声) 法人へ支援が集中していること
- * 担い手の不足、法人の作業者確保
- * 利用権設定面積が増え、畦畔の草刈が追いつかなくなること

* 受託面積が増え、所有施設の処理能力でまかないきれなくなる事

* 水害の危険性が高い地域のため / 中山間地のため、水稲以外の品目に取り組みにくいこと

* 離農する人が増える、耕作放棄地が増加、獣害の拡大

* 機械や資材が上昇傾向にあり、コストカットが限界

* 有利な販売先が見つからないこと

【非担い手】

* 高齢のため赤字であっても水稲以外は作付できない

* 中山間地のため、やめたくても借り手がいらない

* 地域の担い手やオペレーターがいなくなるのでは

* 需要に応じた米生産をどのように進めていくのか

(農家への情報提供)